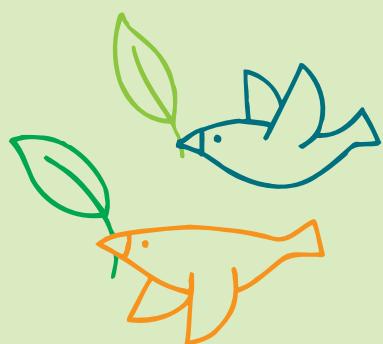


ECO REPORT 2001



環境のために、
私たちができること。



コカ・コーラウエストジャパン株式会社

環境と私たちの関係。 未来と私たちの責任。



21世紀に入り、地球温暖化の問題をはじめ環境への対応がますます重要性を増してまいりました。

持続可能な社会の実現にむけ、各国が、また企業や個々人がどのような選択をし、どのような行動をとっていくべきかはっきりとした道筋を立て、それぞれ責任を果たしていくことが大切であると考えます。

こうした認識のもと、当社では、環境問題への対応を経営の最重要課題として位置付け、様々な活動を展開してまいりました。21世紀は“議論から実行の時”と改めて肝に銘じ、ひとつひとつのプログラムを着実に実践していく所存です。

この「エコレポート」は、昨年に引き続き、当社が取り組んでまいりました環境保全活動の実績と、これからの方針をまとめ、ご報告するものです。ご一読いただき、皆さまからのご意見、ご指導をお寄せいただければ幸いに存じます。



代表取締役
会長兼CEO

久保 長

代表取締役
社長兼COO

菅谷 国雄

より良き企業市民としての約束。
責任ある企業市民としての目標。



私たちの環境への取り組み

私たちの基本理念

「環境好感度No.1企業へ」

コカ・コーラウエストジャパン株式会社は、責任ある企業市民としての自覚のもとに
人間・社会・自然の調和を常に大切にしながら事業活動を推進します。
環境美化・環境保全・資源のリサイクルに努めることは、お客さまや地域社会に対する
当社の責務であると認識し、全社員がそれぞれの職場で自ら責任を持ち、
安心して暮らせる豊かな社会の実現に貢献します。

私たちの行動指針

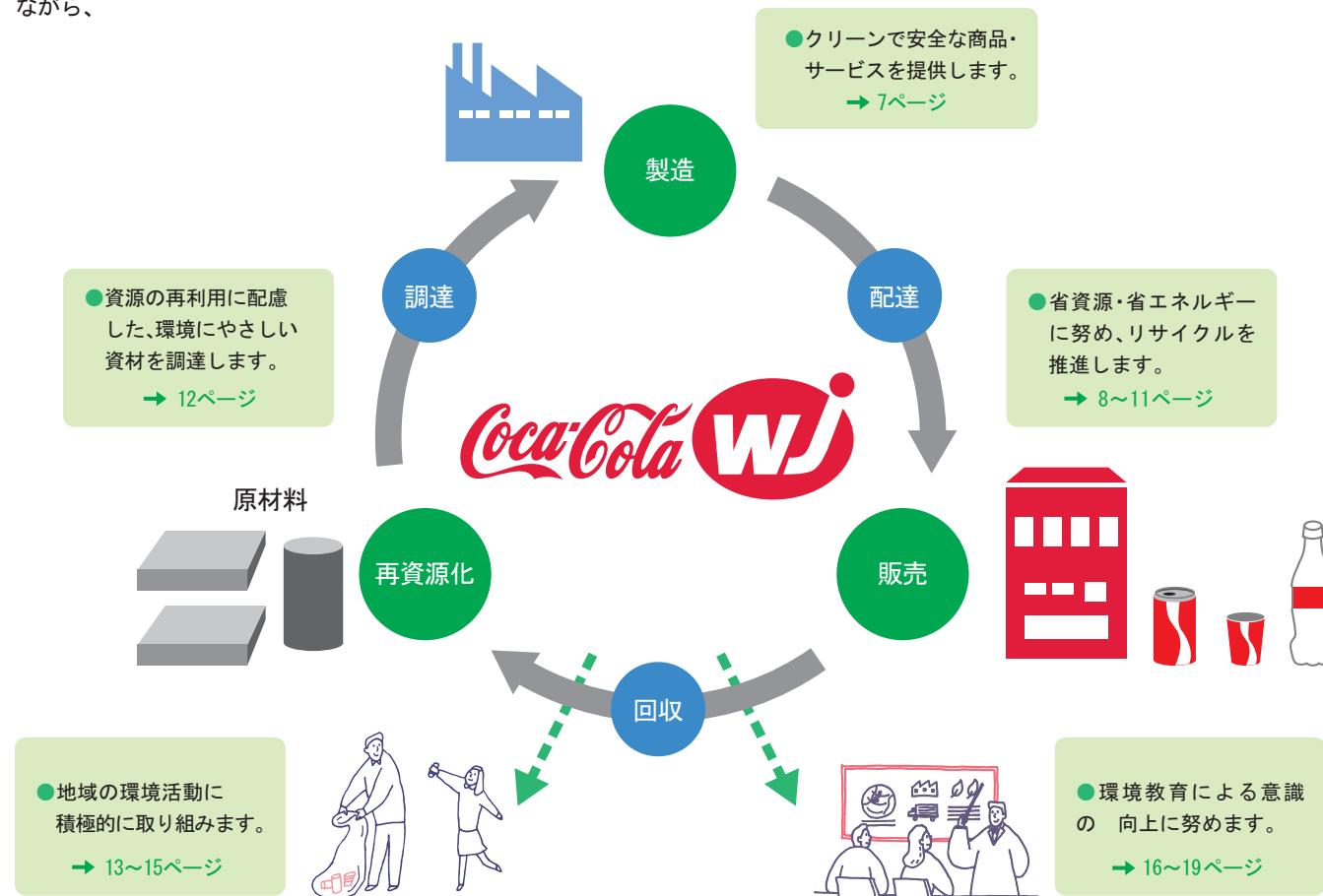
- クリーンで安全な商品・サービスを提供します。
- 省資源・省エネルギーに努め、
リサイクルを推進します。
- 資源の再利用に配慮した、
環境にやさしい資材を調達します。
- 地域の環境活動に積極的に取り組みます。
- 環境教育による意識の向上に努めます。



私たちの環境への取り組み

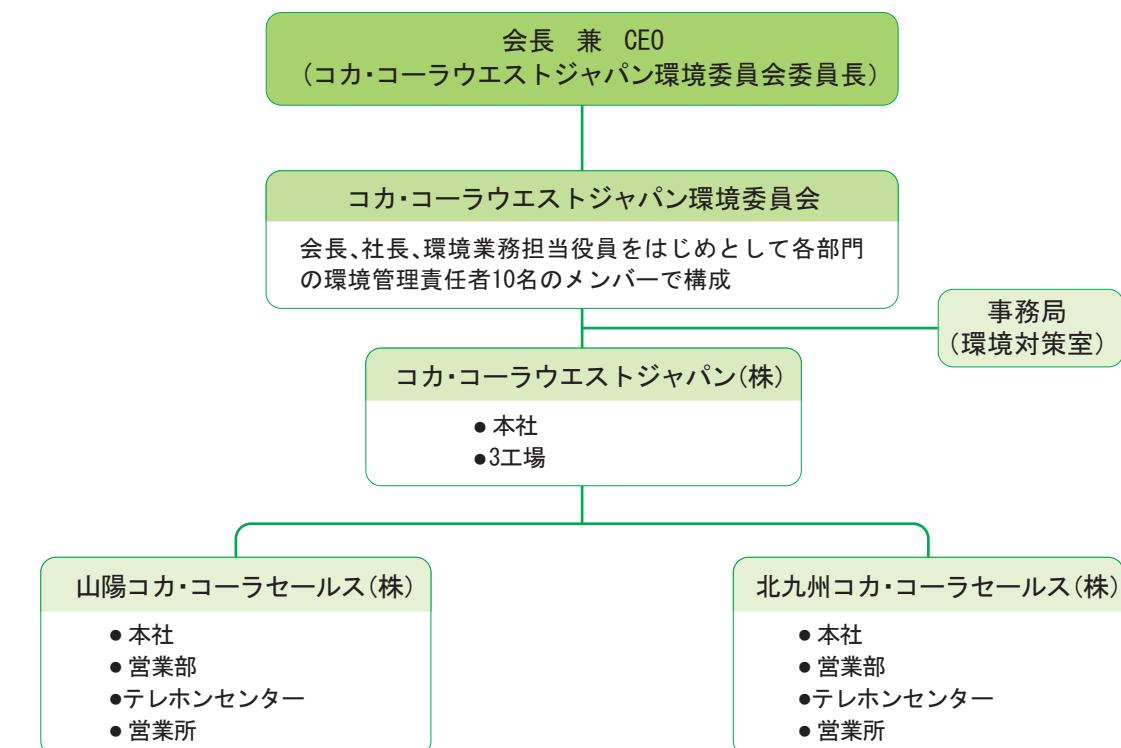
基本理念に基づく、私たちの環境保全活動。

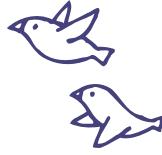
事業活動によって生じる環境負荷を低減させるための、省資源や省エネルギー、リサイクルなどに努め、環境に対する責任と役割を絶えず意識しながら、



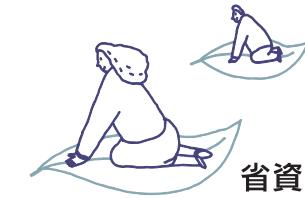
環境保全推進組織

当社では環境保全を経営の最重要課題のひとつに掲げています。本社・工場・営業所にいたるまでの全事業所で、環境保全活動





クリーンで安全な商品・サービス



省資源・省エネルギー

環境マネジメントシステム

「ISO14001」認証取得、本社部門に拡大。

本社部門においては、電気・ガソリン・コピー用紙の使用量の削減、廃棄物減量活動などに取り組んだ結果、平成12年12月8日付で環境マネジメントの国際規格であるISO14001の認証を取得いたしました。当社では、すでに全工場で品質管理および品質保証の国際規格であるISO9002、ならびに環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得しています。

大気汚染防止など、

より環境に配慮した活動を推進。

国際基準に照らした高い水準での生産活動と環境に配慮した活動を積極的に進めるとともに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素やオゾン層の破壊につながるフロンガスの排出量抑制に取り組むなど、大気汚染防止策をISO14001の重要な環境側面として捉え、より高い品質、より環境に配慮した活動を推進していきます。



●登録証が菅谷社長に(平成12年12月)



●ISO14001登録証(工場部門)

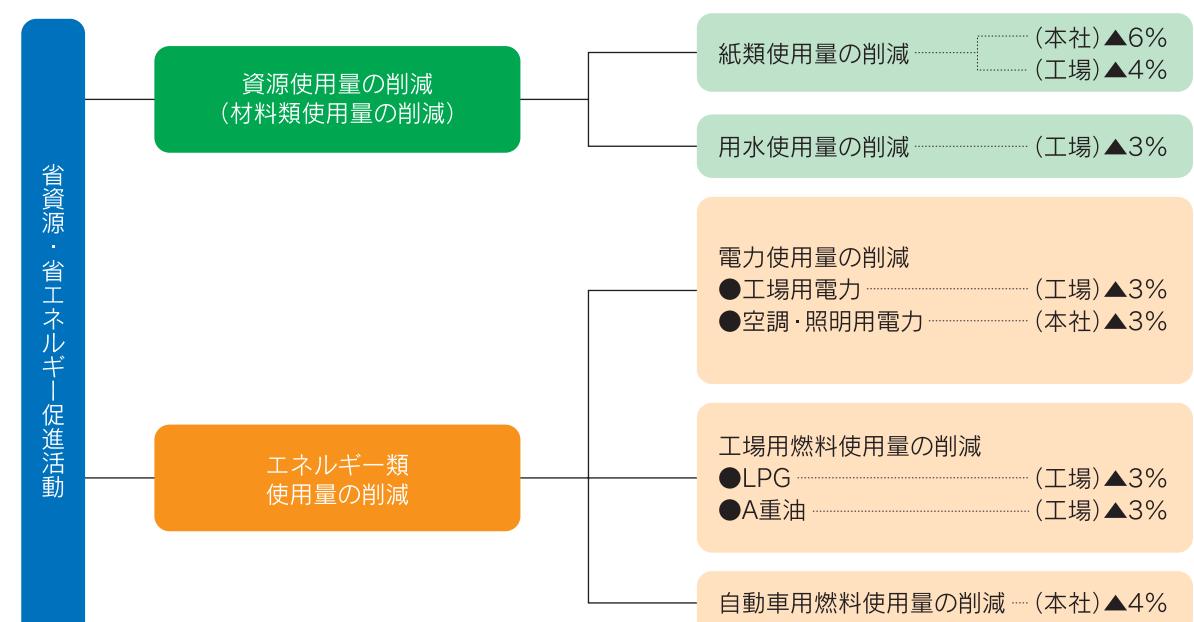


●ISO14001登録証(本社部門)

省資源・省エネルギーの推進

地球温暖化防止のために、省資源省エネルギーにも積極的に取り組んでいます。電力・燃料などのエネルギー使用量の低減を図るとともに、大気汚染の元となる二酸化炭素排出量の削減を推進しています。

●省資源・省エネルギー促進活動（削減率は2003年度までの目標値—2000年度比）





省資源・省エネルギー



エコ・ベンダーの導入

省エネに優れ、環境にも配慮した自動販売機、「エコ・ベンダー」は、ファンコントロール制御による学習省エネ機能、高い断熱性を確保する新断熱カーテン構造、冷気を逃がさない内扉分割構造などを持ち、インバーター方式の蛍光灯等の採用で電力を35%（1997年比）自動節約します。また、オゾン破壊係数ゼロのR407Cを採用し、ペットボトルのリサイクル材の使用、消費電力のピークカットなど、環境保全に対応した自動販売機です。



■省エネ型自販機の導入実績

1999年	27,560台
2000年	11,625台

累計:68,045台／131,200台(2000年度末総台数)
省エネ型自動販売機の導入比率:52%

■自販機のフロンガス対策

廃棄台数およびフロン回収量

	1999年度	2000年度
廃棄台数(台)	17,177	10,154
フロン回収量(kg)	1,670	989

エコ・カーの導入

車両の排気ガスに含まれる二酸化炭素を削減するため、保有車両のハイブリッド自動車、天然ガス自動車への切り替えを行っています。これは、従来の車両に比べ、排気ガス中の二酸化炭素量を、ハイブリッド自動車では約50%、天然ガス自動車では25%以上削減が可能です。現在、様々な状況により利用が制限されていますが、条件が整い次第、順次切り替えを進めています。また、廃棄自動車については、ガソリン、バッテリー、蛍光管、冷却液などの事前処理を適切に行ってています。

■導入台数

- ハイブリッド自動車：4台
- 天然ガス自動車：9台



●天然ガス自動車

リサイクルの推進

ゼロエミッションの達成—全工場

本郷・鳥栖・基山の3工場では、廃棄物再資源化率100%の取り組みをさらにもう一歩進め、「マテリアルリサイクル率100%」を目指しています。すでに、2000年度には廃棄物再資源化率99.5%を達成していますが、残り0.5%（86t）の「サーマルリサイクル」のほとんどは、「熱源」あるいは「路盤材」として再利用されゼロエミッションを達成しています。

2000年度			
種類	マテリアル率(%)	発生量(t)	リサイクル量(t)
コーヒー・茶かす	100	15,466	15,466
汚泥	100	2,468	2,468
金属類	100	302	302
ガラス類	100	122	122
廃プラスチック類	78	303	237
紙類	97	373	360
その他 (布類・ろ材・木くず)	98	376	369
合計	99.5	19,410	19,324



OA用紙の使用量削減

ネットワークによる社内文書のメール化促進を図り、ペーパーレスを推進すると共に、両面コピー、FAX用紙の裏面活用などを積極的に行い、紙の使用量を最低限に抑える活動を進めています。





リサイクルを推進



資材を調達

エコ・リサイクルステーション

主要事業所内に、使用済みのピンと缶を選別再処理する施設、「エコ・リサイクルステーション」を設置しています。スチール・アルミ缶はインゴットにして製鋼メーカーに納入、ガラスビンはカレットとして飲用ビンに再生しています。



■エコ・リサイクルステーション
リサイクル量(9カ所)
●スチール缶: 1,145t
●アルミ缶: 79t
●P E T : 138t

エコ・リカバリーシステム

リサイクル促進を図るため、空容器回収システムのテスト導入を進めています。現在、テスト地域を設け、サービスマンが専用カーを使ってエコルートと呼ばれるコースをまわり、回収作業を行っています。



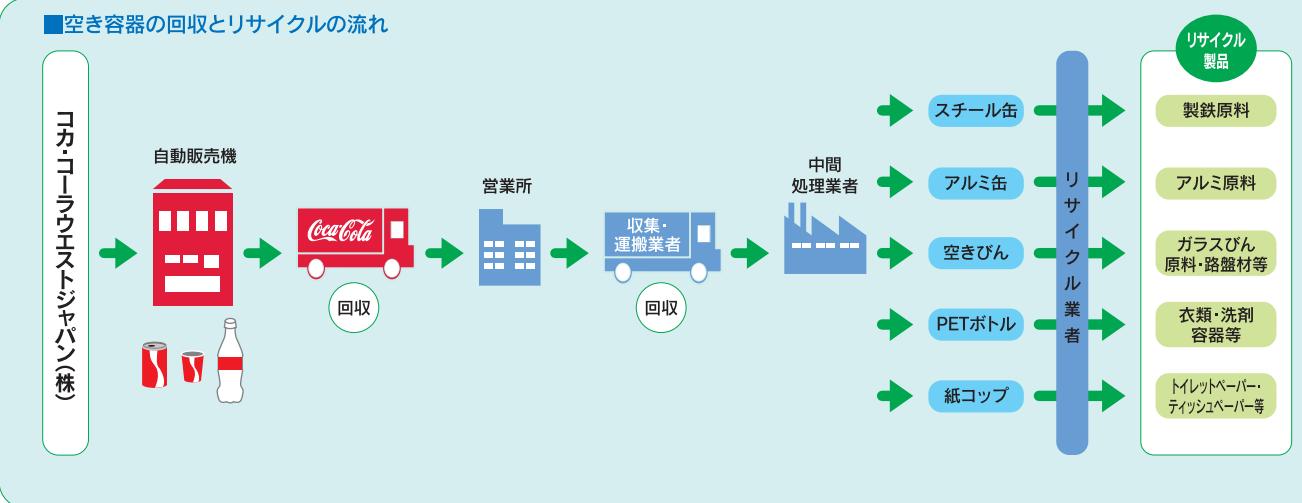
■エコ・リカバリーシステム

グリーン製品購入の推進

各部署においてリサイクル製品の積極的な使用を進め、特にペットボトルのリサイクル製品の利用に力を入れています。これは環境保全に取り組む企業としての責任の一環であり、循環型社会構築へ向けた当社の役割のひとつと捉えています。

●グリーン製品購入実績

購入品目	品目数	調達額(千円)
紙類	3	5,092
印刷物	-	20,798
文具類	24	1,036
自販機	1	4,303,500
自動車	1	21,580
制服	4	7,856
作業用手袋	2	1,959
空容器類	3	45,000





地域の環境活動

コカ・コーラクリーンデー

社員一人ひとりの環境問題に対する自己啓発を目的として、地域社会での環境保全推進活動を、毎月8日に全事業所で実施しています。



環境美化活動

① ラブアースクリーンアップ活動

ラブアースクリーンアップ活動は、「私たちの町をきれいにしよう。日本で最も美しい町にしよう。」を合い言葉に、環境庁が後援して行っている環境美化活動です。今年も、様々な活動に社員が参加し、あわせて資金面での支援も行いました。



② アダプトプログラム

—美しい道や川はわたしたちの手で! —

アダプトプログラムは、空き缶が散乱しやすい場所を選び、ボランティアとなる市民と自治体、企業が協力しあって美化活動を行うというものです。当社は、北九州地区・中国地区で地域の活動を支援しています。



広島県のアダプト「マイロードシステム」は61団体2000人が参加。本郷工場もその一員として活動しています。

北九州博覧祭2001へ参加



「響きあう ひと・まち・技術」をテーマに、11月4日まで開催中の「北九州博覧祭2001」。当社は、この博覧祭の6つのゾーンのひとつ、「エコパークゾーン」内にある「環境体験ひろば」の中に、『こどもエコ広場』を開設しています。『こどもエコ広場』は、ソーラー発電を備えた「太陽のやぐら」や、風力発電を備えた「風の山」、水の力を利用したポンプ設備のある「満ち引きの池」など、子どもたちが楽しく自然エネルギーを体感し、学ぶことができるスペースです。

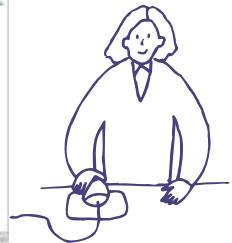
広島フラワーフェスティバルへ参加



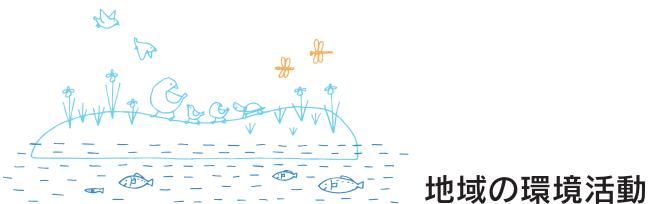
毎年5月に広島で開かれるフラワーフェスティバルに参加して、当社の環境保全への取り組みをわかりやすいパネルにして展示。来場者へも保全活動の大切さを呼びかけることで、意識向上を図っています。

環境インターネットホームページ

当社の環境保全の取り組みをできるだけ多くの方に知っていただくために、インターネットで環境ホームページを開設しています。今後とも、情報開示を積極的に行い環境保全に力を入れていきます。



コカ・コーラウエストジャパンホームページ <http://www.ccwj.co.jp/>



地域の環境活動



環境教育

ビオトープ浮島設置事業

当社の環境保全活動の一環である「ビオトープ浮島設置事業」は、公園内の池や湖などに植物や花を植栽した人工の浮島「ビオトープ・アイランド」を設置して、緑と昆虫や小動物が共生する環境を創出し、新たな景観による市民の憩いの場所を提供するものです。昨年の北九州市、甘木市、久留米市、宗像市に引き続き広島市、岡山県児島郡にも寄贈。高い評価をいただいているます。



エコロジー調査隊

家族や友だちと、身近な自然にふれる。

地域の小学生を対象とした「すすめ! エコロジー調査隊」事業にも協賛しています。これは、子どもたちに身近な自然環境の観察機会を提供し、自然の営みや自然とのかかわりを通して、環境保全意識の向上を図るとともに、家族や友人との共同調査によるふれあいの機会を創出するものです。



●エコロジー調査隊マニュアル



●調査隊に参加した子供たち



●これまでの参加者数

2000年	春	福岡地区	409名
2000年	夏	広島地区	354名
		岡山地区	251名
2001年	春	福岡・佐賀・山口地区	659名

活動を通して、環境保全の大切さを学ぶ。

春休みや夏休みを利用して、自然とふれあう。また、自分たちのまわりの環境を、全国の地域と比較し、身近な環境の再発見ができるなど、地球環境を守ることの大切さを、みんなの心に芽生えさせる活動です。



赤とんぼの街づくり運動



●長崎島原での写生風景



景観保全とリサイクルをテーマに、自治体や地元のメディアと協力して行う、1999年からはじまった新しいエコロジー運動です。赤とんぼをイメージキャラクターに、子供たちの写生大会などを通してあらためて自分たちの街を知つてもらい、日常的に環境問題への意識を高めていくことを目的に活動の輪を広げています。



●最優秀作品



コカ・コーラエコロジースクール

自然環境教育専門家（レンジャー）の指導のもと、身近にある自然を知り、自然と共生する楽しさを体験する中で、自然を大切にする心を育み、学ぶ、実践的なプログラムです。この活動を通して、地域社会の環境保全に貢献すると共に、人々との交流を図り、常に地域社会と一緒に歩む当社へのより深い理解を得ることを目的としています。



コカ・コーラ環境教育財団

コカ・コーラ環境教育財団は、環境関連分野に関わる人々への啓発・支援活動の他、コカ・コーラ環境教育賞を創設し、環境教育・保全に携わる個人や団体の表彰や環境教育の助成を行っています。また、学校における環境教育をサポートするために、新学習指導要領に準拠した環境教育プログラム「スクールEMS」を開発し、教育現場での支援活動を進めています。



●毎年、東京において受賞者グループを表彰

環境活動支援

子ども環境ネットワーク“もしもし地球”



“もしもし地球”は、お母さん的心を子どもたちへという主旨で1993年7月に創刊された、子ども環境情報誌です。現在では、たくさんの母と子が合流し、社会に向けての様々な情報発信を行っています。当社は、“もしもし地球”的地域での活動を、積極的に支援しています。

環境学習の支援

学校では授業の中に環境問題がどんどんとり入れられています。当社にも、環境美化やリサイクル等について学習するため、数多くの小・中学生が訪れています。



●当社を訪れた福岡・箱崎中学校生徒

社員環境教育

環境問題への取り組みは、社員一人ひとりの問題でもあります。当社では、社員すべての環境保全意識や正しい理解の向上を図るため、環境教育や啓発活動、環境セミナーを実施し、活発な活動を展開しています。



環境大賞—社内環境キャンペーン



全社員の環境保全意識の向上を図ることを目的に、社内キャンペーンとして、環境問題に関するポスター・標語を募集する「環境大賞」を実施しています。

社内報

社内報に環境問題のページを設けたり、社内ネットに環境掲示板を開設するなど、随時環境への意識の高揚を図っています。



環境教育



環境費用・投資

環境費用・投資については、明らかに環境関係に費やした費用・投資を当社独自の項目にして記載いたします。なお、設備投資に伴う減価償却および人件費は含まれません。

環境費用(千円)	平成13年(見込)	平成12年(実績)
① 廃棄物処理・リサイクル費用 (本社・営業所・工場処理費、容り法委託費)	878,861	718,532
② 環境活動推進費用 (ごみ箱等備品、機器修繕、ISO関連、グリーン調達支援等)	20,400	17,892
③ 研究・開発関連費用 (エコルート運営、空容器処理システムの研究)	19,744	9,210
④ 社会的活動費用 (地域環境対策、業界団体への寄付・支援、美化活動等)	67,220	61,399
⑤ 環境教育・広報費用 (環境イベント、環境報告書・パンフ、社内教育・啓蒙活動等)	21,000	14,988
計	1,007,225	822,021

環境関連投資額(千円)	平成13年(見込)	平成12年(実績)
① 営業所 (空容器集積用ボックス)	3,056	5,481
② 工場 (省エネ機器入れ替え、燃料削減対策、廃水対策等)	135,500	13,296
計	138,556	18,777

ご意見・ご感想をお聞かせください。

この「エコレポート2001」は、コカ・コーラウエストジャパンの事業活動における環境保全への取り組みの現状を、皆さまにお知らせするためにまとめたものです。まだ課題も多く内容的にも十分とはいえない点もあり、「エコレポート2001」をお読みいただいた皆さまからご意見やご感想をお聞かせいただければ幸いです。お寄せいただいたご意見は、今後の「エコレポート」作成の参考にさせていただきます。

ご意見・ご感想は、下記の環境対策室までお聞かせください。
2001年8月

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

環境対策室

〒812-8650

福岡市東区箱崎七丁目9番66号

TEL (092) 641-9118

FAX (092) 641-9153

コカ・コーラウエストジャパンホームページ

<http://www.ccwj.co.jp/>



会社概要

(平成13年6月30日現在)

コカ・コーラウエストジャパン株式会社

本社所在地：福岡市東区箱崎七丁目9番66号

設立：1960年12月20日

資本金：15,231百万円

従業員数：589名

主な事業内容：コカ・コーラ、スプライト、ファンタ
およびジョージア等の飲料の製造・販売

工場：本郷工場、鳥栖工場、基山工場

山陽コカ・コーラセールス株式会社

本社所在地：広島市中区東千田町二丁目11番20号

資本金：50百万円

従業員数：810名

主な事業内容：清涼飲料水の販売

販売地域：広島県、岡山県、山口県、島根県、鳥取県

事業所：46個所

北九州コカ・コーラセールス株式会社

本社所在地：福岡市東区箱崎七丁目9番66号

資本金：50百万円

従業員数：1,194名

主な事業内容：清涼飲料水の販売

販売地域：福岡県、佐賀県、長崎県

事業所：52個所



コカ・コーラウエストジャパン株式会社
Coca-Cola West Japan Company, Limited



このエコレポートは、再生紙を使用しています。